

5 各種機能を設定する

GP01 設定ツールについて.....	76
GP01 設定ツールを起動する.....	76
GP01 設定ツール画面について (トップページ).....	77
GP01 設定ツール画面について (設定画面).....	78
かんたん設定.....	79
かんたん設定を使用して GP01 の設定を行う.....	80
インターネットの接続/切断をする (接続).....	84
インターネットや無線LANの情報を確認する (基本情報).....	85
各種機能の詳細設定をする (設定).....	86
3G 設定.....	87
無線 LAN 設定.....	94
セキュリティに関する機能の設定をする (ファイアウォール設定).....	102
システム設定.....	115
microSD 設定.....	118
受信したメッセージを確認する.....	119
microSD カードの情報を確認する.....	120
サポート情報を確認する (ヘルプ).....	121
モバイル機器用設定ツールについて.....	122
モバイル機器用設定ツールを起動する (iPod touch の例).....	122
モバイル機器用かんたん設定を使用する (iPod touch の例).....	126
マルチ SSID 設定 (iPod touch の例).....	132
microSD 設定 (iPod touch の例).....	135
受信したメッセージを確認する (iPod touch の例).....	136
microSD カードの情報を確認する (iPod touch の例).....	137

5 各種機能を設定する

GP01 設定ツールについて

本製品に USB ケーブルまたは無線 LAN で接続したパソコンやモバイル機器から、Web ブラウザを使用して本製品の各種機能を設定することができます。

無線 LAN 接続で GP01 設定ツールを使用する場合、「SSID」に接続してください。「SSID2」に接続している場合は、GP01 設定ツールを使用することはできません。

モバイル機器からアクセスする場合

iPod touch などのモバイル機器から設定ツールにアクセスする場合は、122 ページ「モバイル機器用設定ツールについて」も参照してください。

注意

- 無線 LAN で接続したパソコンやモバイル機器から、GP01 設定ツールで「無線 LAN 設定」など無線 LAN 接続に関する設定を変更すると、無線 LAN の接続が切れることがあります。再接続するにはパソコンやモバイル機器の設定変更が必要になりますのでご注意ください。
- GP01 設定ツールを同時に複数のパソコンで表示／設定することはできません。



説明

GP01 設定ツールは、以下の Web ブラウザに対応しています。

Windows : Microsoft Internet Explorer 6, 7, 8, 9

Mac OS X : Safari 3, 4, 5

GP01 設定ツールを起動する

1. パソコンを起動し、本製品と USB ケーブルまたは無線 LAN で接続します。
2. Windows パソコンの場合は、デスクトップ上にある  (EMOBILE GP01 Setting Tool) アイコンをダブルクリックします。
Mac の場合は、「EMOBILE GP01」フォルダ内にある  (EMOBILE GP01 Setting Tool) アイコンをダブルクリックします。
GP01 設定ツールのトップページが表示されます。

注意

Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://pocketwifi.home」と入力しても、GP01 設定ツールを起動することができます。

3. 「GP01 設定ツールログイン」でパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。
 - お買い上げ時の設定ツールのログインパスワードは、WEP キーと同じものが設定されています。WEP キーについては、同梱の無線 LAN 初期設定シールの「WEP Key」欄を参照してください。
 - ユーザ名は「admin」で固定されています。変更・入力できません。
 - 必要に応じて「言語」欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。

ログインに成功すると、GP01 設定ツール かんたん設定画面が表示されます。
かんたん設定の詳細は、79 ページ「かんたん設定」を参照してください。

GP01 設定ツール画面について（トップページ）



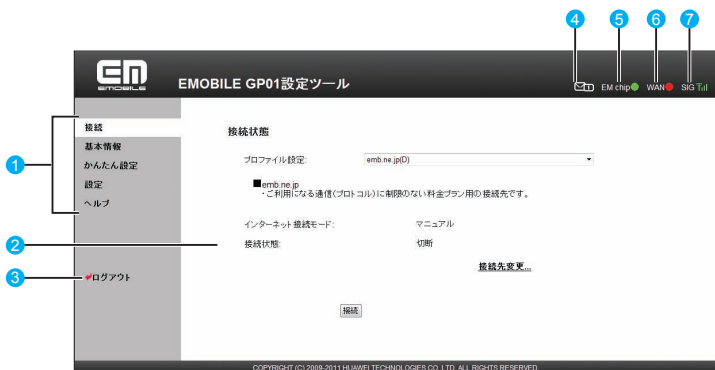
- 1** **メッセージボックス 受信箱へ**
受信したメッセージを表示します。(119 ページ)
- 2** **プロフィール変更**
プロフィールを変更します。
- 3** **通信情報クリア**
送受信データ量／接続時間のカウントを 0 に戻します。
- 4** **モバイル用画面へ**
iPod touch など、モバイル機器用の設定ツール画面を表示します。(122 ページ)
- 5** **取扱説明書 PDF ファイルをダウンロード**
本書をダウンロードします。
- 6** **イー・モバイル公式サイト／お客さまサポート**
イー・モバイルの公式サイト、およびお客さまサポートを表示します。ページを表示するにはインターネットへの接続が必要です。
- 7** **言語**
設定ツールの表示言語を切り替えます。
- 8** **パスワード**
パスワードを入力して、設定ツールにログインします。
- 9** **microSD フォルダを表示します**
microSD カードの情報を表示します。(120 ページ)

注意

- セキュリティ保護のため、お買い上げ時のパスワードは変更することをお勧めします。変更方法については、115 ページ「ログインパスワード変更」を参照してください。
- GP01 設定ツールの操作が 5 分間ない場合、自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。

5 各種機能を設定する

GP01 設定ツール画面について（設定画面）



① メニューリスト

メニュー項目をクリックして、設定ページを切り替えます。

② 設定ページ



各機能の設定／情報画面、またはアイコンメニューが表示されます。

③ ログアウト



クリックして GP01 設定ツールからログアウトします。

④ メッセージ受信アイコン



メッセージ受信時に、未読のメッセージ数が表示されます。

- ・ : 未読のメッセージが 10 件以上ある場合
- ・ : メッセージがいっぱいで、これ以上受信できない場合

⑤ EM chip アイコン

- ・  (緑): 有効な EM chip が取り付けられています。
- ・  (赤): EM chip が取り付けられていません。または EM chip が無効になっています。

⑥ WAN アイコン

- ・  (緑): インターネット接続中 (3G)
- ・  (赤): インターネット未接続

⑦ SIG アイコン

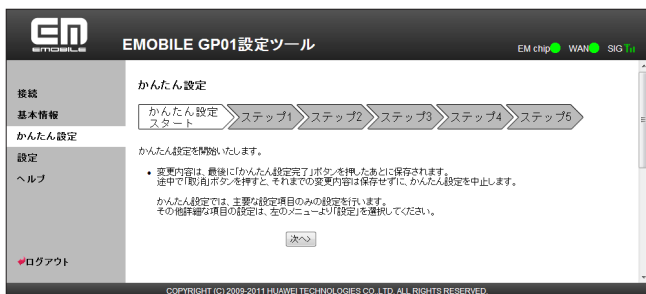
現在の受信レベルを表示します。

かんたん設定

設定ツールにログインすると、かんたん設定が表示されます。

かんたん設定は、本製品をご利用する上で必要な主要な設定項目を 1～5 のステップで簡単に行うことができます。

かんたん設定で設定した内容は、設定完了後に修正することも可能です。



注意

- 変更内容は、最後に「かんたん設定完了」ボタンを押した後に保存されます。途中で「取消」ボタンを押すと、それまでの変更内容は保存せずに、かんたん設定を中止します。
- かんたん設定では、主要な設定項目のみの設定を行います。その他詳細な項目の設定は、設定ツール左側のメニューから「設定」を選択してください。

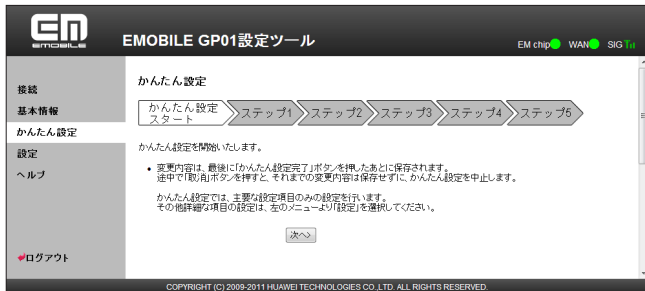
説明

設定ツールにログインすると、最初にかんたん設定画面が表示されます。すでに本製品の設定が済んでいる場合は、設定ツール左側のメニューリストから表示したい項目を選択してください。

5 各種機能を設定する

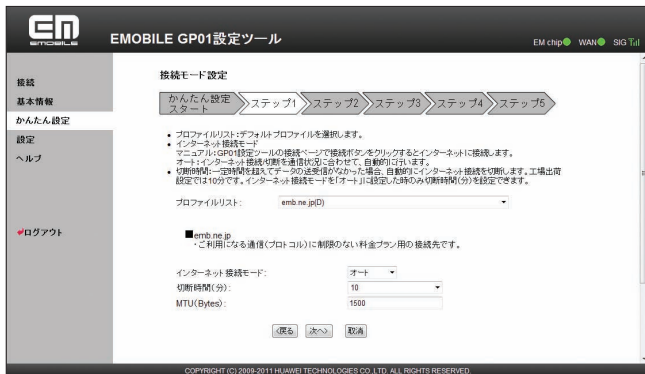
かんたん設定を使用して GPO1 の設定を行う

1. かんたん設定スタート画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



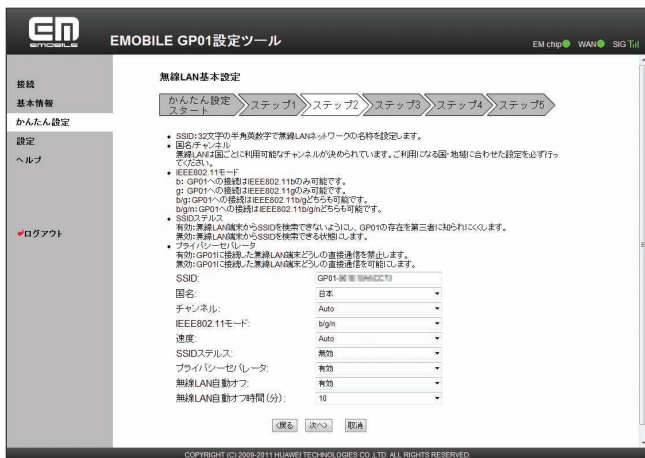
2. ステップ1が表示されます。ステップ1では接続モード（プロファイル）を設定します。プロファイルリストからプロファイルを選択して、「次へ」をクリックします。接続モード設定の詳細は、91 ページ「接続モード設定」を参照してください。

80



3. ステップ2が表示されます。ステップ2では無線LANの設定をします。設定が完了したら、「次へ」をクリックします。

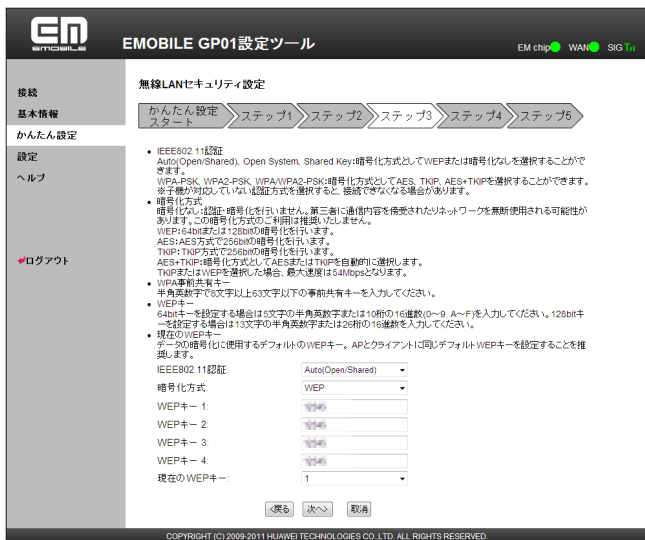
無線LAN基本設定の詳細は、95ページ「無線LAN基本設定」を参照してください。



5 各種機能を設定する

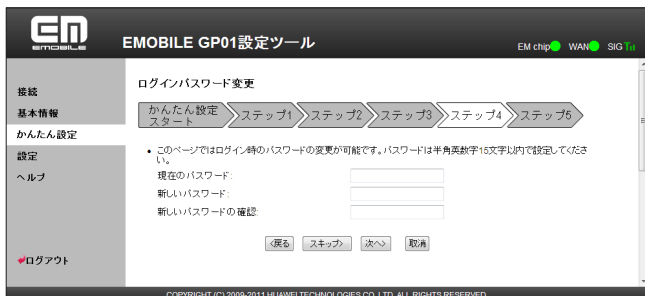
4. ステップ3が表示されます。ステップ3では無線LANのセキュリティ設定をします。設定が完了したら、「次へ」をクリックします。

無線LANセキュリティ設定の詳細は、96ページ「無線LANセキュリティ設定」を参照してください。



5. ステップ4が表示されます。ステップ4では設定ツールにログインする際のログインパスワードの設定をします。現在の設定を変更しない場合は「スキップ」をクリックします。設定を変更する場合は、設定が完了したら、「次へ」をクリックします。

ログインパスワード変更の詳細は、115ページ「ログインパスワード変更」を参照してください。

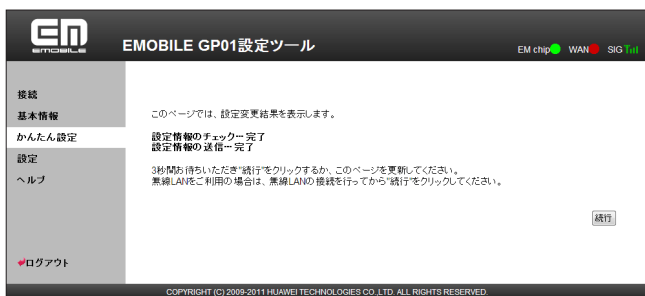


6. ステップ5が表示されます。ステップ5ではここまで行った設定内容を表示します。設定内容を確認したら、「かんたん設定完了」をクリックして設定内容を保存します。



● 設定変更結果画面が表示された場合

1. 「続行」をクリックします。



※設定ツールで各設定を行って「適用」（画面によっては「保存」または「削除」ボタンをクリックしたとき、設定変更結果画面が表示される場合があります。そのときは、画面の指示に従って「続行」ボタンをクリックします。

注意

- 設定を変更後に引き続き設定ツールを使用する場合は、設定ツールに再度アクセスする必要があります。
- インターネット接続中に設定を変更すると、接続が切断されます。インターネット接続モードが「オート」の場合は、本製品を再起動することで自動的にインターネットに接続します。「マニュアル」の場合は、メニューリストの「接続」でインターネットへの接続を行ってください（84 ページ）。
- これらの設定を変更すると、無線 LAN で接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の接続設定を変更して、本製品の無線 LAN 機能をいったんオフにしてから再度オンにしてください。

5 各種機能を設定する

インターネットの接続／切断をする（接続）

インターネットへの接続／切断を GPO1 設定ツール画面から操作できます。

1. メニューリストから「接続」をクリックします。
2. インターネットに接続するには、「接続」ボタンをクリックします。



3. 切断するときは、「切断」ボタンをクリックします。

注意

- インターネット接続モードが「オート」に設定されているときは、「接続」／「切断」ボタンは表示されません。
- PINコード操作(87ページ)が有効になっている状態で、GPO1 設定ツールからインターネットへの接続を行うと、「PIN 認証」画面が表示されます。正しい PIN コードを入力し「適用」をクリックしてください。お買い上げ時の PIN コードは、「9999」に設定されています。

インターネットや無線LANの情報を確認する(基本情報)

1. メニューリストから「基本情報」をクリックします。

インターネット(3G ステータス)と無線LAN(無線LAN ステータス)、本体(本体情報)についての情報が表示されます。

画面右側の「詳細...」をクリックすると、無線LANの詳細な情報が表示されます。



注意

- 表示される受信データ/送信データ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なることがあります。
- 無線LAN接続の受信データ/送信データ量および接続時間はカウントされません。

説明

「通信情報クリア」ボタンをクリックすると、受信データ、送信データ、接続時間がリセットされます。

5 各種機能を設定する

各種機能の詳細設定をする（設定）

1. メニューリストから「設定」をクリックします。
アイコンメニューが表示されます。




2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

- **3G 設定**
インターネット接続に関する詳細機能を設定します。(87 ページ)
- **無線 LAN 設定**
無線 LAN 機能に関する詳細機能を設定します。(94 ページ)
- **ファイアウォール設定**
ファイアウォールに関する詳細設定を行います。(102 ページ)
- **システム設定**
システムに関する詳細機能を設定します。(115 ページ)
- **microSD 設定**
microSD カードに関する設定を行います。(118 ページ)

3G 設定

インターネットに接続するためのプロファイルなどの設定変更や新規作成ができます。

1. 「設定」のアイコンメニューから  (3G 設定) をクリックします。
「3G 設定」のアイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

EM chip PIN 管理

PIN (Personal Identification Number) とは、EM chip が不正に利用されることを防ぐために使われるパスワードです。PIN 認証の有効／無効の設定、PIN コードの認証や変更などを行うことができます。



5 各種機能を設定する

● 有効／無効にする場合

1. 「現在の PIN コード」に正しい PIN コードを入力します。
2. 「適用」をクリックします。

● 認証を行う場合

1. 「現在の PIN コード」に正しい PIN コードを入力します。
2. 「PIN コード操作」から「認証する」を選択します。
3. 「適用」をクリックします。

● 変更する場合（有効のとき）

1. 「PIN コード操作」から「変更する」を選択します。
2. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
PIN コード操作	適用する操作を選択します。	有効にする、無効にする、 認証する、変更する	(なし)
現在の PIN コード	現在設定されている PIN コードを 入力します。	4～8 桁の数字	(なし)※
新しい PIN コード	PIN コードを変更する場合に、新 しい PIN コードを入力します。	4～8 桁の数字	(なし)
新しい PIN コードの 確認	確認のため、新しい PIN コードを 再入力します。	4～8 桁の数字	(なし)
PUK コード	PIN ロック時に表示されます。 PIN ロック解除コード (PUK コード)を入力します。	8 桁の数字	(なし)

※：お買い上げ時の EM chip の PIN コードは、「9999」に設定されています。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

説明

- PIN コード操作を有効に設定すると、本製品の電源を入れたときに、ディスプレイに「PIN Lock」(28 ページ)と表示されます。PIN コード入力は対応ブラウザを搭載した機器でのみ可能なため、PIN コードを入力できない無線 LAN 端末のみで使用する場合には、PIN コード操作を無効に設定してください。
- PIN コード操作が有効になっている状態で、GPO1 設定ツールからインターネットへの接続(84 ページ)を行うと、「PIN 認証」画面が表示されます。正しい PIN コードを入力し「適用」をクリックしてください。
- PIN コード入力を 3 回連続で間違えると PIN ロック状態になり、PIN ロックを解除するには、PIN ロック解除コードの入力が必要です。PIN ロック解除コード (PUK コード)については、お問い合わせ先(157 ページ)にご連絡ください。また、PIN ロック解除コード (PUK コード)を 10 回連続で間違えると、完全ロック状態になります。完全ロック状態を解除するには、所定の手続きが必要になります。お問い合わせ先(157 ページ)にご連絡ください。手続きに伴い手数料が発生することがあります。

周波数選択設定

ネットワークを照会するときを選択される周波数を指定します。



1. 項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
周波数	選択される周波数を指定します。	自動、 WCDMA1700、 WCDMA2100	自動

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

注意

- インターネット接続中は変更できません。
- WCDMA2100 は国際ローミングでご利用いただく場合に必要の設定ですので、国内にてご利用の場合は「自動」もしくは「WCDMA1700」を設定してください。

5 各種機能を設定する



ネットワーク検索設定

接続できるネットワークを検索する方法を設定します。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
モード	検索モードを選択します。	自動、手動	自動
ネットワーク	モードで「手動」を選択したときに、「適用」ボタンのクリック後に表示されます。利用可能なネットワークを選択します。	(リスト項目)	(なし)

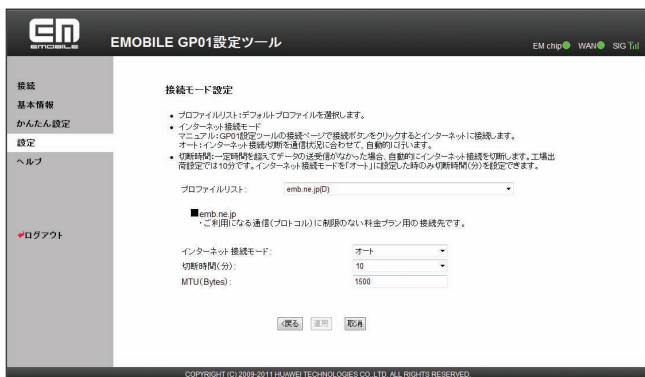
2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

注意

- インターネット接続中は変更できません。
- 通常ご利用いただく場合は「自動」を選択してください。

接続モード設定

インターネットに接続するための設定や通信の設定ができます。



1. 「プロファイルリスト」から、デフォルトへ設定するプロファイルを選択します。
2. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト	設定するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大 16 件※	emb.ne.jp
インターネット接続モード	接続方法を選択します。	マニュアル、オート	オート
切断時間 (分)	インターネット接続モードが「オート」のときに一定時間データの送受信がなかった場合に、インターネットが自動的に切断されるまでの時間を設定します。	5、10、15、30、60	10
MTU (Bytes)	最大転送ユニットサイズを指定します。	1400 ~ 1500	1500

※：お買い上げ時、本製品には以下の 4 つのプロファイルが設定されています。これらのプロファイルは、削除／編集できません。

emb2.ne.jp	データプラン B など、一部ご利用いただけない通信（プロトコル）のある料金プラン用の接続先です。ファイル交換 (P2P) やオンラインゲーム、動画の一部などが利用できません。
emb.ne.jp	データプラン、スーパーライトデータプランなど、ご利用になる通信（プロトコル）に制限のない料金プラン用の接続先です。本製品の初期設定となっています。
myemobile	オンラインサポートサイト「My EMOBILE」専用の接続先です。 ※「My EMOBILE」への接続にかかる通信料は無料です。
rtc.data	プリペイド（前払い方式）サービス「EM チャージ」専用の接続先です。 ※ EM チャージのお客さまは「EM チャージ」以外の接続先は利用できません。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

5 各種機能を設定する

注意

- インターネット接続中に設定を変更すると、接続が切断されます。インターネット接続モードが「オート」の場合は、本製品を再起動することで自動的にインターネットに接続します。「マニュアル」の場合は、メニューリストの「接続」でインターネットへの接続を行ってください（84 ページ）。
- インターネット接続モードが「オート」の場合、本製品に電源が入っている間は自動的に常時インターネット接続を行います。メニューリストの「接続」で接続 / 切断は行えません。
- インターネット接続モードが「オート」の場合、ご契約の料金プランによっては通話料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。また、ローミングサービスご利用時は、「マニュアル」に設定してお使いになるようお勧めします。



プロフィール設定

プロフィール（接続設定）を新規作成、編集、削除できます。

あらかじめ設定されている4つのプロフィール（emb2.ne.jp、emb.ne.jp、myemobile、rtc.data）以外に、最大12件までプロフィールを追加することができます。

The screenshot shows the 'EMOBILE GP01 設定ツール' (EMOBILE GP01 Setting Tool) interface. The main window is titled 'プロフィール設定' (Profile Setting). On the left, there is a navigation menu with options: '接続' (Connection), '基本情報' (Basic Information), 'かんたん設定' (Easy Setting), '設定' (Setting), 'ヘルプ' (Help), and 'ログアウト' (Logout). The '設定' (Setting) option is currently selected. The main content area displays the 'プロフィール設定' (Profile Setting) screen. It includes a list of profiles with a dropdown menu currently showing 'emb.ne.jp(D)'. Below this, there are input fields for 'プロフィール名' (Profile Name) with 'emb.ne.jp', '接続番号' (Connection Number) with '258', 'ユーザ名' (Username) with 'em', 'パスワード' (Password) with 'em', and '認証方式' (Authentication Method) with 'PPAP'. There are also checkboxes for 'APN' (em.ne.jp), 'ダイナミック' (Dynamic), and 'スタティック' (Static) for both 'IPアドレス' (IP Address) and 'DNS' (DNS). At the bottom, there are buttons for '<戻る' (Back), '保存' (Save), '削除' (Delete), and '取消' (Cancel). The footer of the tool contains the copyright notice: 'COPYRIGHT (C) 2009-2011 HUAWEI TECHNOLOGIES CO.,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.'

<例>プロフィールを編集する場合

1. 「プロフィールリスト」から編集するプロフィールを選択します。

● 新規作成する場合

「プロフィール名」に任意の接続設定名を入力して、手順 2 以降を行います。

● 削除する場合

「プロフィールリスト」から削除する接続設定を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

2. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロフィールリスト	編集／削除するプロフィールを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロフィールを除き最大 12 件*1	emb.ne.jp
プロフィール名	新規に設定する場合、任意のプロフィール名を入力します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (. * : ; < > & \ ¥ は除く)	emb.ne.jp
接続番号	インターネット接続先の番号です。	—	*99#*2
ユーザ名	ユーザ名を設定します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (. * : ; < > & \ ¥ は除く)	em
パスワード	パスワードを設定します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (. * : ; < > & \ ¥ は除く)	em
認証方式	認証方式を設定します。	PAP、CHAP	PAP
APN	APN を指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	スタティック
	APN を設定します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (. * : ; < > & \ ¥ は除く)	emb.ne.jp
IP アドレス	IP アドレスを指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
	本製品のグローバル IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	(なし)

*1：お買い上げ時、本製品には以下の 4 つのプロファイルが設定されています。これらのプロファイルは、削除／編集できません。

emb2.ne.jp	データプラン B など、一部ご利用いただけない通信（プロトコル）のある料金プラン用の接続先です。ファイル交換 (P2P) やオンラインゲーム、動画の一部などが利用できません。
emb.ne.jp	データプラン、スーパーライトデータプランなど、ご利用になる通信（プロトコル）に制限のない料金プラン用の接続先です。
myemobile	オンラインサポートサイト「My EMOBILE」専用の接続先です。 ※「My EMOBILE」への接続にかかる通信料は無料です。
rtc.data	プリペイド（前払い方式）サービス「EM チャージ」専用の接続先です。 ※EM チャージのお客さまは「EM チャージ」以外の接続先は利用できません。


*2：変更できません。

3. 設定が完了したら「保存」ボタンをクリックします。

5 各種機能を設定する

無線 LAN 設定

無線 LAN 機能の各種設定ができます。

1. 「設定」のアイコンメニューから （無線 LAN 設定）をクリックします。「無線 LAN 設定」のアイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

無線 LAN 基本設定

SSID の無線 LAN の基本的な機能を設定できます。

無線LAN基本設定

- SSID: 32文字の半角英数字で無線LANネットワークの名前を設定します。
- 国名/チャンネル
 - 無線LANは国によって利用可能なチャンネルが決まっています。ご利用になる国・地域に合わせた設定を必ず行ってください。
- IEEE802.11モード
 - b: GP01への接続はIEEE802.11bのみ可能です。
 - g: GP01への接続はIEEE802.11gのみ可能です。
 - b/g: GP01への接続はIEEE802.11b/gのみ可能です。
 - b/g/n: GP01への接続はIEEE802.11b/g/nいずれも可能です。
- SSIDステルス
 - 有効: 無線LAN機能からSSIDを検索できないようにし、GP01の存在を第三者に知られにくくします。
 - 無効: 無線LAN機能からSSIDを検索できる状態にします。
- プライバシーセパレータ
 - 有効: GP01に接続した無線LAN端末との直接通信を禁止します。
 - 無効: GP01に接続した無線LAN端末との直接通信を可能にします。

SSID: GP01 (空欄) (半角英数字)

国名: 日本

チャンネル: Auto

IEEE802.11モード: b/g/n

速度: Auto

SSIDステルス: 有効

プライバシーセパレータ: 有効

無線LAN自動オフ: 有効

無線LAN自動オフ時間(分): 10

戻る 適用 取消

COPYRIGHT (C) 2009-2011 HANAME TECHNOLOGIES CO. LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID	ネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大 32 文字までの半角英数字、「.」、「-」、「_」、「(半角スペース)」	※ 1
国名	国名を選択します。	(リスト項目)	日本
チャンネル	使用チャンネルを選択します。	Auto、1、2、…、13	Auto
IEEE802.11 モード	無線 LAN 機能の動作モードを選択します。	b、g、b/g、b/g/n	b/g/n
速度	無線 LAN の通信速度を設定します。	Auto、1、2、5.5、6、7.2、9、11、12、14.4、18、21.7、24、28.9、36、43.3、48、54、57.8、65、72.2	Auto
SSID ステルス ^{*2}	SSID が表示されないように設定します。	有効、無効	無効
プライバシーセパレータ	本機種に接続している無線 LAN 端末 (パソコンなど) の相互通信を禁止するかどうかを設定します。有効にした場合、LAN 接続でのファイル共有などが利用できません。	有効、無効	有効

5 各種機能を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
無線 LAN 自動オフ	無線 LAN 端末が接続されていない状態で、無線 LAN 接続を自動的にオフするかどうかを設定します。	有効、無効	有効
無線 LAN 自動オフ時間 (分)	無線 LAN 自動オフが「有効」の場合に、自動オフするまでの時間を設定します。	5、10、20	10

※ 1 : お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。

※ 2 : 「有効」に設定すると、WPS 機能が利用できなくなりますのでご注意ください。

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

注意

- これらの設定を変更すると、無線 LAN で接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の接続設定を変更して、本製品の無線 LAN 機能をいったんオフにしてから再度オンにしてください。
- 無線 LAN に許容される通信速度やチャンネルなどの設定値は、国によって異なります。本製品を日本国外でお使いになる場合には、正しい国名を設定して、各国の通信事情に十分注意してご利用ください。

96



無線 LAN セキュリティ設定

SSID の無線 LAN のセキュリティ機能を設定できます。

無線LANセキュリティ設定

- IEEE802.11認証: Auto/Open/Shared, Open System, Shared Key: 暗号化方式としてWEPまたは暗号化なしを選択することができます。
- WPA-PSK, WPA2-PSK, WPA/WPA2-PSK+暗号化方式としてAES, TKIP, AES+TKIPを選択することができます。
- お子機が対応していない認証方式を選択すると、接続できなくなる場合があります。
- 暗号化方式: 暗号化なし: 認証・暗号化を行いません。第三者に通信内容を傍受されたりネットワークを無断使用される可能性があります。この暗号化方式のご利用は推奨いたしません。
- WEP: 64bitまたは128bitの暗号化を行います。
- AES: AES方式で256bitの暗号化を行います。
- TKIP: TKIP方式で256bitの暗号化を行います。
- AES+TKIP: 暗号化方式としてAESまたはTKIPを自動的に選択します。
- TKIPまたはWEPを選択した場合、最大速度は54Mbpsとなります。
- WPA事前共有キー: 半角英数字で8文字以上163文字以下の事前共有キーを入力してください。
- WEPキー: 64bitキーを設定する場合は8文字の半角英数字または10桁の16進数(0~9, A~F)を入力してください。128bitキーを設定する場合は13文字の半角英数字または26桁の16進数を入力してください。
- 現在のWEPキー: テキストボックスに使用するデフォルトのWEPキー。APとクライアントに同じデフォルトWEPキーを設定することを推奨します。

IEEE802.11認証: Auto/Open/Shared
 暗号化方式: WEP
 WEPキー 1: [入力欄]
 WEPキー 2: [入力欄]
 WEPキー 3: [入力欄]
 WEPキー 4: [入力欄]
 現在のWEPキー: 1

[戻る] [適用] [取消]

COPYRIGHT (C) 2009-2011 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IEEE802.11 認証	認証方式を選択します。 「Auto(Open/Shared)」を選択すると WEP 認証方式として Open System または Shared Key を自動的に選択します。	Auto(Open/Shared)、Open System、Shared Key、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	Auto(Open/Shared)
暗号化方式	暗号化モードを選択します。	暗号化なし、WEP	WEP
WEP キー 1 ~ 4	「IEEE802.11 認証」で「Auto(Open/Shared)」、「Open System」または「Shared Key」を選択し、「暗号化方式」で「WEP」を選択しているときに表示されます。 WEP キーを設定します。	64bit キー： 5 文字の半角英数字と半角記号 (. , * ; : < > & \ ¥ は除く) または 10 桁の 16 進数 (0 ~ 9 , A ~ F) 128bit キー： 13 文字の半角英数字と半角記号 (. , * ; : < > & \ ¥ は除く) または 26 桁の 16 進数 (0 ~ 9 , A ~ F)	WEP キー (WEP キー 1 のみ) *
現在の WEP キー	「IEEE802.11 認証」で「Auto(Open/Shared)」、「Open System」または「Shared Key」を選択し、「暗号化方式」で「WEP」を選択しているときに表示されます。 現在の WEP キーを設定します。	1 ~ 4	1
WPA 暗号化方式	「IEEE802.11 認証」で「WPA-PSK」「WPA/WPA2-PSK」または「WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。 暗号化モードを選択します。	AES、TKIP、AES + TKIP	AES
WPA 事前共有キー	「IEEE802.11 認証」で「WPA-PSK」「WPA/WPA2-PSK」または「WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。 使用する WPA 事前共有キーを指定します。	8 文字以上、最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (. , * ; : < > & \ ¥ は除く)、または 64 桁の 16 進数 (0 ~ 9 , A ~ F)	※

※：お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。

5 各種機能を設定する

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

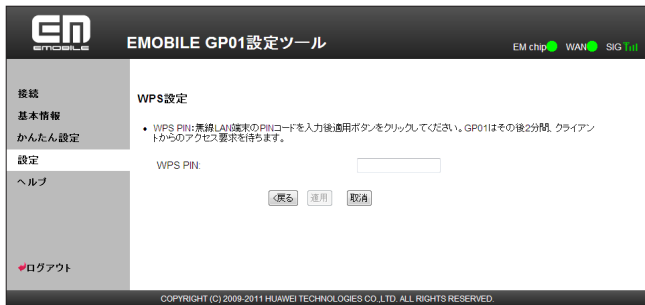
注意

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みの無線 LAN 端末が接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の接続設定を変更してください。
- 通信の安全性を高めるために、暗号化方式は WEP よりも WPA/WPA2 に設定することをお勧めします。ただし、一部のゲーム機などではこの方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。
- WPA/WPA2 のキー更新頻度は 6000 秒に固定されており、変更することはできません。



WPS 設定

SSID の WPS 用の PIN コードが指定された WPS 対応機器を接続する場合に、指定されている PIN コードを設定します。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS PIN	WPS 対応機器に指定されている PIN コードを設定します。	8 桁の半角数字	(なし)

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

説明

- WPS を実行するには無線 LAN がオンになっている必要があります。無線 LAN がオンになっていることをご確認の上、WPS 設定を行ってください。WPS PIN を設定すると、自動的に本製品の WPS 機能がオンになります。約 2 分以内に、WPS 対応機器で WPS 機能の接続操作を行ってください。
- 「SSID2」では、WPS 機能は使用できません。

MAC アドレスフィルタリング設定

SSID の無線 LAN 端末の MAC アドレスを登録して無線 LAN 接続の許可／禁止を設定し、セキュリティ機能を強化できます。



The screenshot shows the 'EMOBILE GP01 設定ツール' (EMOBILE GP01 Settings Tool) interface. The title bar includes 'EM chip', 'WAN', and 'SIG Full' indicators. The left sidebar contains navigation options: '接続' (Connection), '基本情報' (Basic Information), 'かんたん設定' (Easy Settings), '設定' (Settings), 'ヘルプ' (Help), and 'ログアウト' (Logout). The main content area is titled 'MACアドレスフィルタリング設定' (MAC Address Filtering Settings). It contains the following text: 'MACアドレスフィルタリングモード' (MAC Address Filtering Mode) with a note that it allows or denies access based on a list of MAC addresses; and 'MACアドレス' (MAC Address) with a note that it allows or denies access for up to 10 wireless LAN devices. There is a dropdown menu for the mode (currently set to '無効' - Inactive) and two columns of input fields for MAC addresses. At the bottom are buttons for '戻る' (Back), '適用' (Apply), and '取消' (Cancel). The footer reads 'COPYRIGHT (C) 2009-2011 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.'

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
MAC アドレスフィルタリングモード	MAC アドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。	無効、許可、拒否※	無効
MAC アドレス	接続を許可、または禁止する無線 LAN 端末の MAC アドレスを 10 個まで設定できます。	00～FF の 6 組の番号	(なし)

※：「許可」と「拒否」を同時に設定することはできません。

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

注意

- これらの設定を変更すると、無線 LAN で接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の MAC アドレスを確認し、正しく設定しなおしてください。
- これらの設定を有効にしている場合、許可されていない無線 LAN 端末は、WPS 機能を利用して接続できなくなります。

5 各種機能を設定する



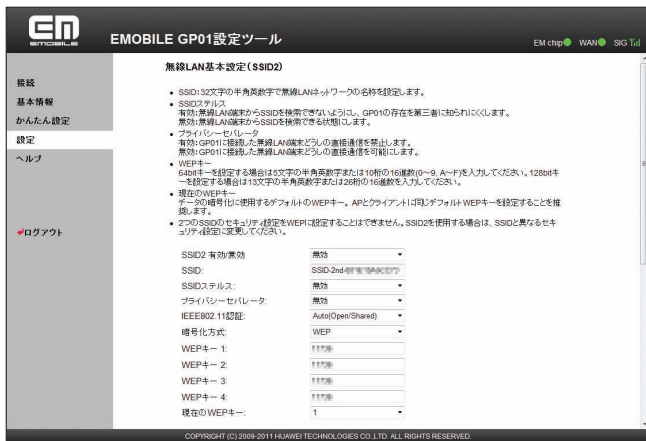
マルチ SSID 設定

マルチ SSID 機能 (SSID2) を有効にし、SSID2 の無線 LAN 基本設定や MAC アドレスフィルタリング設定を設定できます。

SSID2 は WPA/WPA2 の暗号化方式には対応していません。

SSID の暗号化方式を WEP に設定しているときは、SSID2 を WEP に設定してマルチ SSID 機能を有効にすることはできません。SSID2 を WEP に設定してマルチ SSID 機能に有効にする場合は、SSID を WEP 以外に設定してから行ってください。

- 「無線 LAN 基本設定 (SSID2)」と「MAC アドレスフィルタリング設定 (SSID2)」は同一画面内にあります。どちらかの設定項目を設定した場合は、画面下部の「適用」ボタンをクリックしてください。



無線 LAN 基本設定 (SSID2)

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID2 有効/無効	SSID2 を有効にするかどうかを設定します。	有効、無効	無効
SSID	ネットワーク名 (SSID2) を設定します。	最大 32 文字までの半角英数字、「_」、「-」、「」(半角スペース)」	※ 1、2
SSID ステルス	SSID が表示されないように設定します。	有効、無効	無効

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プライバシーセパレータ	本機種に接続している無線 LAN 端末（パソコンなど）の相互通信を禁止するかどうかを設定します。有効にした場合、LAN 接続でのファイル共有などが利用できません。	有効、無効	無効
IEEE802.11 認証	認証方式を選択します。「Auto(Open/Shared)」を選択すると WEP 認証方式として Open System または Shared Key を自動的に選択します。	Auto(Open/Shared)、Open System、Shared Key	Auto(Open/Shared)
暗号化方式	暗号化モードを選択します。	暗号化なし、WEP	WEP
WEP キー 1～4	「暗号化方式」で「WEP」を選択しているときに表示されます。WEP キーを設定します。	64bit キー： 5 文字の半角英数字と半角記号（.,":;<> & \ ¥は除く）または 10 桁の 16 進数（0～9、A～F） 128bit キー： 13 文字の半角英数字と半角記号（.,":;<> & \ ¥は除く）または 26 桁の 16 進数（0～9、A～F）	WEP キー（WEP キー 1 のみ）※ 1
現在の WEP キー	「暗号化方式」で「WEP」を選択しているときに表示されます。現在の WEP キーを設定します。	1～4	1

※ 1：お買い上げ時のネットワーク名（SSID）と暗号化キー（WEP キー、WPA キー）については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。

※ 2：お買い上げ時の「SSID2」は無線 LAN 初期設定シールの「SSID」の「GP01-」部分を「SSID-2nd-」に置きかえたものです。

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

注意

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みの無線 LAN 端末が接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の接続設定を変更してください。
- SSID2 の WEP キーを変更すると、SSID の WEP キーも変更されます。また、SSID の WEP キーを変更した場合も同様に SSID2 の WEP キーも変更されます。

5 各種機能を設定する

● MAC アドレスフィルタリング設定 (SSID2)

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
MAC アドレスフィルタリングモード	SSID2 の MAC アドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。	無効、許可、拒否*	無効
MAC アドレス	接続を許可、または禁止する無線 LAN 端末の MAC アドレスを 10 個まで設定できます。	00 ~ FF の 6 組の番号	(なし)

※：「許可」と「拒否」を同時に設定することはできません。

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

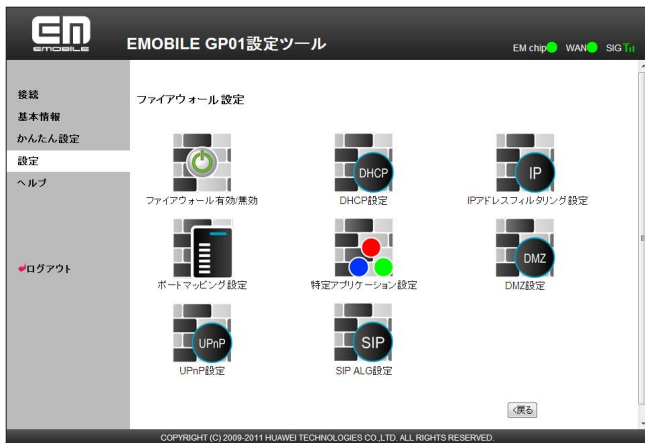
注意

これらの設定を変更すると、無線 LAN で接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の MAC アドレスを確認し、正しく設定しなおしてください。

セキュリティに関する機能の設定をする (ファイアウォール設定)

ファイアウォール機能に関する詳細設定を行うことができます。

1. 「設定」のアイコンメニューから  (ファイアウォール設定) をクリックします。「ファイアウォール設定」アイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。



ファイアウォール有効／無効

ファイアウォール機能の有効／無効などを設定します。

ファイアウォールを有効にするとインターネットとLANの間を出入りする通信を監視し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。

※不正な侵入を完全に防ぐことを保証するものではありません。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ファイアウォールを有効にする	ファイアウォール機能を使用するかどうかを設定します。	(オン、オフ)	(オン)
IP アドレスフィルタを有効にする	IP アドレスフィルタ機能を使用するかどうかを設定します。	(オン、オフ)	(オン)
WAN ポート PING 応答を無効にする	WAN 側からの Ping に応答するかどうかを設定します。	(オン、オフ)	(オフ)

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

説明

ファイアウォールを有効に設定すると、外部からのLAN側に対するアクセスが遮断されるため、安全性が向上します。また、一部のアプリケーションが使えなくなったり、機能が制限されたりすることがありますが、以降の各機能を適切に設定することにより、これらの制限を回避することができます。

5 各種機能を設定する



DHCP 設定

LAN 内の端末に IP アドレスを割り当てる機能を設定します。

EMOBILE EMOBILE GP01 設定ツール EM chip WAN SIG Full

接続
基本情報
かんたん設定
設定
ヘルプ
ログアウト

DHCP 設定

- 工場出荷設定では DHCP サーバ 機能を有効にしています。開始アドレスと終了アドレスの範囲から IP アドレスを割り当てます。DHCP サーバ 機能を無効に設定すると GP01 に接続できなくなる場合があります。通常は有効のままお使いください。

IP アドレス: 192.168.1.1
サブネットマスク: 255.255.255.0

DHCP サーバ: 有効 無効
開始 IP アドレス: 192.168.1.100
終了 IP アドレス: 192.168.1.200
DHCP リースタイム (秒): 86400
DNS 設定: ダイナミック スタティック
プライマリ DNS:
セカンダリ DNS:

戻る 適用 取消

COPYRIGHT (C) 2009-2011 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

104

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IP アドレス	本製品のプライベート IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	192.168.1.1
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	255.255.255.0
DHCP サーバ	DHCP 機能を利用するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
開始 IP アドレス	無線 LAN 端末に割り当てる最小の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	192.168.1.100
終了 IP アドレス	無線 LAN 端末に割り当てる最大の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	192.168.1.200
DHCP リースタイム (秒)	IP アドレスのリースタイムを設定します。	60 ~ 86400	86400
DNS 設定	DNS サーバアドレスを DHCP 機能で指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	(なし)
セカンダリ DNS	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	(なし)

2. 設定が完了したら、「適用」ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

3. 「OK」をクリックします。

設定内容が適用され、自動的に本製品が再起動し、ログイン画面に戻ります。約 60 秒後に再起動が完了します。

- 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

注意

- 「IP アドレス」と「開始 IP アドレス」、「終了 IP アドレス」には、同じサブネットワーク内の IP アドレスを指定してください。
- 「終了 IP アドレス」には、「開始 IP アドレス」より大きい IP アドレスを指定してください。
- これらの設定を変更すると、GPO1 設定ツールが動作しなくなったり表示されなくなることがあります。その場合には、パソコンを再起動したあと、正しい IP アドレスを指定して GPO1 設定ツールを起動しなおしてください。
- 「IP アドレス」または「サブネットマスク」を変更すると、106 ページ「IP アドレスフィルタリング設定」、108 ページ「ポートマッピング設定」、113 ページ「DMZ 設定」の設定変更が必要になる場合があります。

5 各種機能を設定する



IP アドレスフィルタリング設定

ファイアウォールの基本的な機能です。

設定したルールに従い、インターネットから送られてきた通信の送信元と送信先のアドレスからファイアウォールを通過させるか判断します。最大 16 件まで登録できます。

注意 この機能を利用するには、「ファイアウォール有効 / 無効」の「IP アドレスフィルタを有効にする」をオンに設定しておく必要があります。(103 ページ)

説明 サービスの種類や用途、使用するアプリケーションによって、使用されるプロトコルとポート番号が指定されているため、それらを適切に設定することにより、特定の機能に関する通信のみを遮断することができます。本製品には、意図しない情報漏えいを防ぐためあらかじめ 9 つのフィルタ条件が設定されています。

EMOBILE GP01 設定ツール

EM chip WAN SIG Full

接続
基本情報
かんたん設定
設定
ヘルプ
ログアウト

IPアドレスフィルタリング設定

- 設定したルールに従ってパケットをフィルタリングします。
- LAN/WANポート番号の指定範囲は1~65535です。
- 注意:設定は追加更新ボタンにて設定一覧に追加更新後、適用ボタンをクリックすることで有効になります。
- 意図しない情報漏えいを防ぐため、本製品には予め9つのフィルタ条件が設定されています。特に必要がなければ削除せずそのままご利用ください。

プロトコル: Both ステータス: 無効
LAN側IPアドレス: _____ LANポート番号: _____
WAN側IPアドレス: _____ WANポート番号: _____
種類: 拒否 方向: OUT

<戻る 追加/更新 適用 取消

設定一覧

LAN側IPアドレス	LANポート番号	WAN側IPアドレス	WANポート番号	プロトコル	ステータス	操作
192.168.1.*	1-65535	****	135-139	Both	有効	
192.168.1.*	1-65535	****	445	Both	有効	
192.168.1.*	1-65535	****	2049	Both	有効	
192.168.1.*	1-65535	****	1243	TCP	有効	
192.168.1.*	1-65535	****	12345	TCP	有効	
192.168.1.*	1-65535	****	27374	TCP	有効	
192.168.1.*	1-65535	****	31785	TCP	有効	
192.168.1.*	1-65535	****	31789	TCP	有効	
192.168.1.*	1-65535	****	31791	UDP	有効	

COPYRIGHT (C) 2009-2011 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

● ルールを登録する場合

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	Both、TCP、UDP	※ 1
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	有効、無効	※ 1
LAN 側 IP アドレス	ルールを適用する LAN 側(送信元) 端末の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号とワイルドカードとして「*」※ 2	※ 1
LAN ポート番号	ルールを適用する LAN 側(送信元) ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」で連結	※ 1
WAN 側 IP アドレス	ルールを適用する WAN 側(送信先) 端末の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号とワイルドカードとして「*」※ 2	※ 1
WAN ポート番号	ルールを適用する WAN 側(送信先) ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」で連結	※ 1
種別	パケットに対する動作です。	拒否	拒否※ 3
方向	ルールを適用するパケットの送信方向です。	OUT	OUT※ 3

※ 1 : お買い上げ時、本製品には9つのフィルタ条件が設定されています。153ページの※ 5を参照してください。

※ 2 : 「*」を任意の文字として下記のように使うことができます。

1. *.*.*
2. 10.*.*
3. 10.10.*
4. 10.10.10.*

LAN 側 IP アドレスの場合は、同じサブネット内の IP アドレス範囲内でワイルドカードが適用されます。

<例>

本製品をお買い上げ時の状態でお使いの場合、LAN 側 IP アドレスは「192.168.1.*」となります。DHCP 設定の IP アドレスを「192.168.1.1」、サブネットマスクを「255.255.0.0」に設定した場合は、LAN 側 IP アドレスは「192.168.*.*」となります。

※ 3 : 変更できません。

2. 「追加 / 更新」ボタンをクリックします。

- ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。


確認画面が表示されます。

4. 「OK」をクリックします。


設定が完了し、登録されます。

5 各種機能を設定する

● 登録したルールを変更する場合

1. 設定リストから、設定を変更したいルールの「操作」欄に表示されている  (編集) アイコンをクリックします。
設定内容が設定画面に読み込まれます。
2. 設定を変更し、「追加 / 更新」ボタンをクリックします。
 - ・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを変更できます。
3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
確認画面が表示されます。
4. 「OK」をクリックします。
設定が完了し、登録されます。

● 登録したルールを削除する場合

1. 設定リストから、削除したいルールの「操作」欄に表示されている  (削除) アイコンをクリックします。
項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。
2. 「OK」をクリックします。
グレー表示部分が削除されます。
 - ・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを削除できます。
3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
確認画面が表示されます。
4. 「OK」をクリックします。
設定が完了し、登録されます。



ポートマッピング設定

インターネットから LAN 内の特定の端末にアクセスできるようにします。サーバや FTP を公開する場合や、一部のオンラインゲームやメッセージングソフトなどを使用する場合に設定します。最大 16 件まで登録できます。

注意

この機能では LAN 側端末を IP アドレスで指定するため、公開するサーバには、DHCP 設定にて割り当てられていない、同一サブネット内の静的な IP アドレスを、手動で設定する必要があります。(104 ページ)

説明

セキュリティ対策等でポート番号の変換を行いたい場合のみ、異なる番号を設定してください。サーバ公開やオンラインゲームを使用する場合の設定では、通常ポート番号を変換する必要はありません。



● ルールを登録する場合

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	Both、TCP、UDP	Both
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	有効、無効	無効
サービス名	ルールに任意の名前を付けます。	最大 40 文字までの半角英数字と半角記号 (, . : ; < > & \ ¥ は除く)	(なし)
WAN ポート番号	ルールを適用する WAN 側 (送信元) ポート番号を設定します。	1 ~ 65535	(なし)
LAN 側 IP アドレス	サーバとして公開する LAN 側端末の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	(なし)
LAN ポート番号	サーバとして公開する LAN 側の特定の端末に、パケットを転送する際の送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、「WAN ポート番号」と同じ値を設定します。	1 ~ 65535	(なし)
サービス選択※	サーバの種類を選択し、一般的な設定を入力することができます。	(リスト項目)	(任意設定)

※：一般的なサーバ機能を設定する場合には、サーバの種類を選択すると、適切なポート番号などが自動的に入力され、設定が簡単になります。リストに表示されないサーバ機能を設定する場合には、「任意設定」を選択し、各項目を手動で設定してください。

2. 「追加 / 更新」ボタンをクリックします。

- ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

5 各種機能を設定する


3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「OK」をクリックします。

設定が完了し、登録されます。

● 登録したルールを変更する場合

1. 設定一覧から、設定を変更したいルールの「操作」欄に表示されている （編集）アイコンをクリックします。

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2. 設定を変更し、「追加 / 更新」ボタンをクリックします。

・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを変更できます。


3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「OK」をクリックします。

設定が完了し、登録されます。

● 登録したルールを削除する場合

1. 設定リストから、削除したいルールの「操作」欄に表示されている （削除）アイコンをクリックします。

項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。

2. 「OK」をクリックします。

グレー表示部分が削除されます。

・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「OK」をクリックします。

設定が完了し、登録されます。



特定アプリケーション設定

オンラインゲームやテレビ電話システムなど、特殊なアプリケーションが利用できるようにします。最大 16 件まで登録できます。

説明 アプリケーションが使用するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。

The screenshot shows the 'EMOBIILE GP01 設定ツール' (EMOBIILE GP01 Setting Tool) interface. The title bar includes 'EMOBIILE', 'EMOBIILE GP01 設定ツール', and status indicators for 'EM chip', 'WAN', and 'SIG Full'. The left sidebar contains navigation options: '接続' (Connection), '基本情報' (Basic Information), 'かんたん設定' (Easy Setting), '設定' (Setting), and 'ヘルプ' (Help). The main area is titled '特定アプリケーション設定' (Specific Application Setting) and contains a detailed explanation of the feature, followed by input fields for 'アプリケーション名' (Application Name), 'トリガーポート番号' (Trigger Port Number), 'トリガープロトコル' (Trigger Protocol), 'オープンポート番号' (Open Port Number), and 'オープンプロトコル' (Open Protocol). A 'ステータス' (Status) dropdown menu is set to '無効' (Inactive). Below the form are buttons for '<戻る' (Back), '追加/更新' (Add/Update), '運用' (Operation), and '取消' (Cancel). At the bottom, there is a '設定一覧' (Setting List) table and a copyright notice: 'COPYRIGHT (C) 2009-2011 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.'

アプリケーション名	トリガープロトコル	トリガーポート番号	オープンプロトコル	オープンポート番号	ステータス	操作

● ルールを登録する場合

1. 各項目を設定します。


設定項目	説明	設定範囲	初期値
アプリケーション名	ルールに任意の名前を付けます。	最大 40 文字までの半角英数字と半角記号 (, " ; : < > & \ ¥ は除く)	(なし)
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	有効、無効	無効
トリガーポート番号	制御データ用のポート番号を設定します。	1 ~ 65535	(なし)
トリガープロトコル	制御データに使用するプロトコルを設定します。	Both、TCP、UDP	Both
オープンポート番号	データ転送用のポート番号、またはポート番号の範囲を 5 つまで設定できます。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」で連結※ 複数指定する場合は「,」で連結	(なし)
オープンプロトコル	データ転送用のプロトコルを選択します。	Both、TCP、UDP	Both

※：範囲指定する場合、開始ポート番号と終了ポート番号の差は 100 以下にしてください。


5 各種機能を設定する

2. 「追加 / 更新」ボタンをクリックします。
 - ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順 1 ~ 2 を繰り返します。
3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
確認画面が表示されます。
4. 「OK」をクリックします。
設定が完了し、登録されます。

● 登録したルールを変更する場合

1. 設定リストから、設定を変更したいルールの「操作」欄に表示されている  (編集) アイコンをクリックします。
設定内容が設定画面に読み込まれます。
2. 設定を変更し、「追加 / 更新」ボタンをクリックします。
 - ・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを変更できます。
3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
確認画面が表示されます。
4. 「OK」をクリックします。
設定が完了し、登録されます。

● 登録したルールを削除する場合

1. 設定リストから、削除したいルールの「操作」欄に表示されている  (削除) アイコンをクリックします。
項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。
2. 「OK」をクリックします。
グレー表示部分が削除されます。
 - ・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを削除できます。
3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
確認画面が表示されます。
4. 「OK」をクリックします。
設定が完了し、登録されます。



DMZ 設定

LAN 内の特定の端末を、他の端末から隔離された DMZ ホストとして設定することができます。Web サーバを公開したり、オンラインゲームなどを利用するときに、ポート番号などの設定をしなくても利用できるようになります。

注意

- DMZ ホストに設定した端末は、外部に対してすべてのポートをオープンしていることになるため、端末のパーソナルファイアウォール機能などを設定して、安全性を確保するようお勧めします。
- この機能では LAN 側端末を IP アドレスで指定するため、DMZ ホストになる端末には、DHCP 設定にて割り当てられていない、同一サブネット内の静的な IP アドレスを、手動で設定する必要があります。(104 ページ)



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
DMZ	DMZ ホストを設定するかどうかを選択します。	有効、無効	無効
DMZ IP アドレス	DMZ ホストの IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	192.168.1.100

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

5 各種機能を設定する



UPnP 設定

UPnP 対応の周辺機器、AV 機器、電化製品、またはメッセンジャーソフトなどの UPnP 対応アプリケーションを使用するときに設定します。



1. UPnP 機能の有効/無効を選択します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
UPnP	UPnP 機能を使用するかどうかを選択します。	有効、無効	無効

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。



SIP ALG 設定

SIP アプリケーションを使用してインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。




1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SIP ALG を有効にする	SIP ALG 機能を有効にするかどうかを選択します。	(オン、オフ)	(オフ)
SIP ポート番号	SIP サービスプロバイダから指定されたポート番号を入力します。	1 ~ 65535	5060

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

システム設定

GP01 設定ツールのログインパスワードを変更したり、各設定をお買い上げ時の状態に戻したりするなど、GP01 設定ツール全体の設定や操作ができます。

1. 「設定」のアイコンメニューから （システム設定）をクリックします。「システム設定」のアイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

ログインパスワード変更

GP01 設定ツールのログイン時に入力するパスワードを変更できます。



1. 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、更に確認のために新しいパスワードを再入力します。
パスワードは、最大 15 文字までの半角英数字と半角記号（. * : ; < > & \ ¥ は除く）で設定します。
2. 「変更」ボタンをクリックします。
パスワードが変更され、「ログイン」画面に戻ります。

5 各種機能を設定する

バックアップ & リストア

GP01 設定ツールの設定内容をログインしているパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。



● バックアップする場合

1. 現在の設定を保存するには、「バックアップ」ボタンをクリックします。
2. 確認画面が表示されたら、「保存」をクリックします。
3. 保存先フォルダとファイル名を指定し、「保存」をクリックします。Bak ファイル形式で保存されます。

注意

- ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。
- 受信したメッセージは保存されません。

● リストアする場合

1. 保存した設定内容を読み込むには、「参照 ...」ボタンをクリックして読み込むファイルを指定し、「リストア」ボタンをクリックします。
設定内容が読み込まれ、「ログイン」画面に戻ります。
 - 設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

注意

Software Ver.2 以前の GP01 でバックアップしたファイルは Software Ver.3 の GP01 にはリストアできません。

工場出荷設定

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻し、受信したメッセージを削除します。

※EM chipの登録内容、microSDカードに保存した内容は削除されません。



1. 「リストア」ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。
2. 「OK」ボタンをクリックすると、設定内容が変更された後で本製品が再起動され、ログイン画面に戻ります。

再起動には、約 60 秒かかります。

- 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

117

本体再起動

本製品を再起動することができます。



1. 「再起動」ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。
2. 「OK」ボタンをクリックすると、本製品が再起動され、ログイン画面に戻ります。

再起動には、約 60 秒かかります。

- 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

5 各種機能を設定する

バージョン情報

本製品に関するバージョン情報を確認することができます。



※ 実際の表示とは異なります。

microSD 設定

microSD カードに保存されているファイルの共有モードを指定します。「HTTP NAS モード」に設定すると、microSD カードに保存されているファイルを設定ツール上で確認することができます。「USB マスストレージモード」に設定すると、USB で接続したパソコンから microSD カードをリムーバブルディスクとして利用できます。

1. 「設定」のアイコンメニューから  (microSD 設定) をクリックします。「microSD 設定」の設定画面が表示されます。




2. 項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
共有モード	共有モードを指定します。	HTTP NAS モード*、USB マスストレージモード	USB マスストレージモード

※：HTTP NAS モードに設定すると、本製品に接続しているすべての機器から、microSDカードに保存されている内容を確認することができます。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

受信したメッセージを確認する

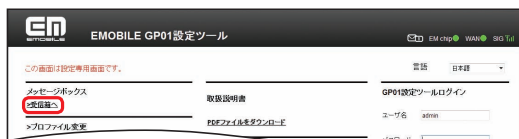
イー・モバイルからのお知らせなどのメッセージを受信すると、本製品のディスプレイにが表示されます（数字は、未読のメッセージ数を表しています）。GP01 設定ツールを利用すると、メッセージを確認することができます。

・メッセージは最大 250 件まで保存できます（メッセージサイズにより 250 件未満で受信箱がいっぱいになることがあります）。

※2011年9月現在、イー・モバイルからのメッセージの配信は行っておりません。

1. GP01 設定ツールのトップページで「受信箱へ」をクリックします。

メッセージ受信箱が表示されます。



● メッセージを確認する場合

1. 確認したいメッセージ（受信日時／送信者／内容欄のいずれか）をクリックします。



5 各種機能を設定する

- **メッセージを削除する場合**
 1. 削除したいメッセージにチェックマークを付けます。
 2. 「削除」ボタンをクリックします。
- **メッセージ受信箱の表示を更新する場合**
 1. 「更新」ボタンをクリックします。
最新の情報が表示されます。

microSD カードの情報を確認する

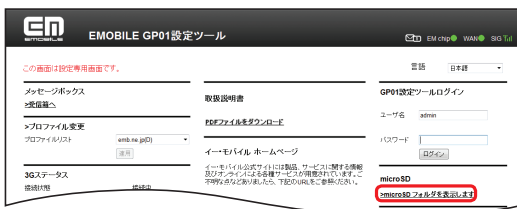
本製品に取り付けた microSD カードに保存されているファイルを、GPO1 設定ツール上で確認することができます。

注意

- この機能を利用するには、「microSD 設定」の「共有モード」を「HTTP NAS モード」に設定しておく必要があります。
- 3 ページ「動作環境（対応 OS）」に記載されている環境以外では、正常に機能／動作しない場合があります。

120

1. GPO1 設定ツールのトップページで「microSD フォルダを表示します」をクリックします。



- **microSD カードのファイルを確認する場合**
 1. 確認したいフォルダまたはファイルをクリックします。



- microSD カードのファイルを削除する場合
 1. 削除したいファイルにチェックマークを付けます。
 2. 「選択したファイルを削除」ボタンをクリックします。
- microSD カードのファイルをパソコンに保存する場合
 1. 保存したいファイルをクリックします。
 2. 「保存」をクリックします。
- パソコンのファイルを microSD カードに保存する場合
 1. 「アップロード」ボタンをクリックします。
 2. 「参照」ボタンをクリックします。
 3. パソコン側の保存したいファイルを選択して、「開く」をクリックします。
 4. 「アップロード」ボタンをクリックします。
 5. アップロード成功の画面が表示されたら「OK」をクリックします。

サポート情報を確認する（ヘルプ）

本製品や各種サービスに関する情報、問題の対処方法などは、こちらのヘルプページよりイーモバイル公式サイトへアクセスしてください。



5 各種機能を設定する

モバイル機器用設定ツールについて

iPod touch などのモバイル機器から設定ツールにアクセスすると、モバイル機器用の設定画面が表示されます。

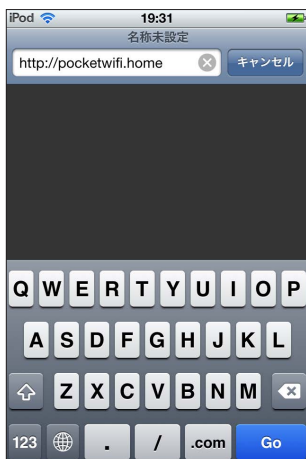
モバイル機器用設定ツールでは、かんたん設定（80 ページ）と同様の設定が可能です。また、受信したメッセージを確認したり（136 ページ）、microSD カードの情報を確認したりする（137 ページ）ことも可能です。

注意

- すべてのモバイル機器での動作を保証するものではありません。
- 本製品の詳細な動作設定については、76 ページ「GPO1 設定ツールについて」を参照してください
- PC 用の GPO1 設定ツールと比較して、一部機能が省略されています。

モバイル機器用設定ツールを起動する (iPod touch の例)

1. iPod touch を起動し、本製品と無線 LAN で接続します。
2. Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「<http://pocketwifi.home>」と入力します。



注意




PC 用の設定ツール画面が表示された場合は、画面左下の「モバイル用画面へ」をタッチしてください。

3. ログイン画面が表示されます。パスワードを入力して、「ログイン」をタッチします。
- ・ お買い上げ時の設定ツールのログインパスワードは、WEP キーと同じものが設定されています。WEP キーについては、同梱の無線 LAN 初期設定シールの「WEP Key」欄を参照してください。
 - ・ ユーザ名は「admin」で固定されています。変更・入力できません。
 - ・ 必要に応じて「言語」欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。



1 **メッセージ受信表示アイコン**

受信したメッセージを表示します。(136 ページ)

- ・  : 未読のメッセージがある場合
- ・  : すべて既読の場合
- ・  : メッセージがいっぱいで、これ以上受信できない場合

2 **microSD**

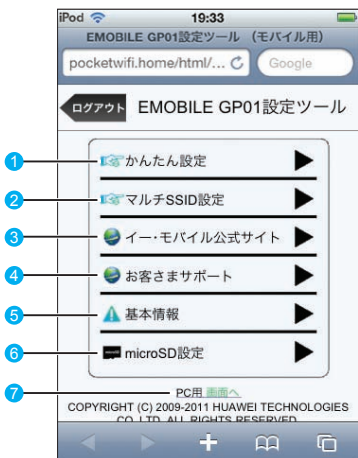
microSD カードの情報を表示します。(137 ページ)

3 **PC 用画面へ**

PC 用の GP01 設定ツール画面を表示します。(77 ページ)

5 各種機能を設定する

4. 設定ツールのトップページが表示されます。



① **かんたん設定**

かんたん設定画面を表示します。主な設定項目は、PC用設定ツールと同様です。
詳細は、80ページ「かんたん設定を使用してGP01の設定を行う」を参照してください。

② **マルチSSID設定**

マルチSSID機能（SSID2）の有効／無効を設定します。

③ **イー・モバイル公式サイト**

④ **お客さまサポート**

イー・モバイルのホームページを表示します。

⑤ **基本情報**

現在の本製品の通信設定を表示します。

⑥ **microSD設定**

microSDカードに関する設定を行います。（135ページ）





⑦ **PC用画面へ**

PC用の設定ツール画面を表示します。（77ページ）

● 基本情報

設定ツールで「基本情報」をタッチすると、現在の本製品の通信設定が表示されます。



設定項目	説明
ネットワーク名	現在接続中のネットワーク名を表示します。
受信レベル	 ⇄  : 受信レベル「強」⇄「弱」
EM chip 状態	EM chip (エムチップ) の認証状態を表示します。
電話番号	EM chip (エムチップ) に登録されている電話番号を表示します。
接続状態	インターネットへの接続状況を表示します。 インターネット接続モード(91 ページ)が「マニュアル」の場合、インターネットへの接続または切断が可能です。
送信データ	累計の送信データ量を表示します。
受信データ	累計の受信データ量を表示します。
接続時間	接続時間を表示します。
無線 LAN 接続数	本製品へ無線接続している機器の台数を表示します。
電池残量	本製品の電池残量を表示します。  ⇄  : 電池残量「多い」⇄「少ない」

注意

- インターネット接続モードが「オート」に設定されているときは、「接続」 / 「切断」ボタンは表示されません。
- 表示される受信データ / 送信データ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なることがあります。

5 各種機能を設定する

画面左上の「ログアウト」をタッチすると、設定ツールからログアウトします。
右上の「ホーム」をタッチすると、設定ツールのトップページに戻ります。



モバイル機器用かんたん設定を使用する (iPod touch の例)

かんたん設定では、本製品をご利用する上で必要な主要な設定項目を 1～4 のステップで簡単に行うことができます。

かんたん設定で設定した内容は、設定完了後に修正することも可能です。

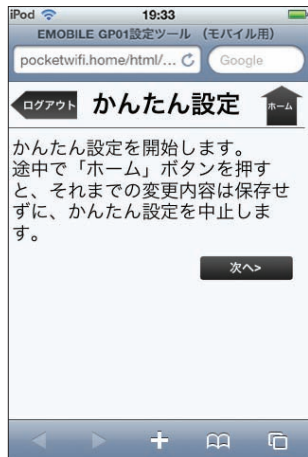
注意

- 変更内容は、最後に「完了」ボタンを押した後に保存されます。途中でログアウトまたはホームに戻ると、それまでの変更内容は保存せずに、かんたん設定を中止します。
- かんたん設定では、主要な設定項目のみの設定を行います。その他詳細な項目の設定は、PC 用設定ツール (76 ページ) を使用してください。

1. 設定ツールで「かんたん設定」をタッチします。



2. 「次へ」 ボタンをタッチします。



3. ステップ 1 が表示されます。ステップ 1 では接続先 APN を設定します。プロフィールリストからプロフィールを選択して、「次へ」をタッチします。プロフィールについては、91 ページ「接続モード設定」および 92 ページ「プロフィール設定」を参照してください。

127



設定項目	説明	初期値
APN	APN を設定します。	emb.ne.jp

5 各種機能を設定する

4. ステップ2が表示されます。ステップ2では無線LANの設定をします。設定が完了したら、「次へ」をタッチします。

無線LAN基本設定については、95ページ「無線LAN基本設定」もあわせて参照してください。



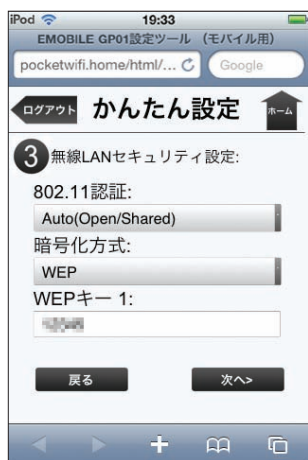
設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID	ネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大 32 文字までの半角英数字、「-」、「_」、「(半角スペース)」	※ 1
SSID スタイル※ 2	SSID が表示されないように設定します。	有効、無効	無効

※ 1：お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。

※ 2：「有効」に設定すると、WPS 機能が利用できなくなりますのでご注意ください。

5. ステップ3が表示されます。ステップ3では無線LANのセキュリティ設定をします。設定が完了したら、「次へ」をタッチします。

無線LANセキュリティ設定については、96ページ「無線LANセキュリティ設定」もあわせて参照してください。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
IEEE802.11 認証	認証方式を選択します。「Auto(Open/Shared)」を選択すると WEP 認証方式として Open System または Shared Key を自動的に選択します。	Auto(Open/Shared)、Open System、Shared Key、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	Auto(Open/Shared)
暗号化方式	暗号化モードを選択します。	暗号化なし、WEP	WEP
WEP キー 1	「IEEE802.11 認証」で「Auto(Open/Shared)」、「Open System」または「Shared Key」を選択し、「暗号化方式」で「WEP」を選択しているときに表示されます。WEP キーを設定します。	64bit キー： 5 文字の半角英数字と半角記号（. * ; : < > & \ ¥ は除く） または 10 桁の 16 進数（0～9、A～F） 128bit キー： 13 文字の半角英数字と半角記号（. * ; : < > & \ ¥ は除く） または 26 桁の 16 進数（0～9、A～F）	WEP キー（WEP キー 1 のみ）*

5 各種機能を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPA 暗号化方式	「IEEE802.11 認証」で「WPA-PSK」「WPA/WPA2-PSK」または「WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。暗号化モードを選択します。	AES、TKIP、AES + TKIP	AES
WPA 事前共有キー	「IEEE802.11 認証」で「WPA-PSK」「WPA/WPA2-PSK」または「WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。使用する WPA 事前共有キーを指定します。	8 文字以上、最大 63 文字までの半角英数字と半角記号（.、*、:、<、> &、\、¥ は除く）、または 64 桁の 16 進数（0～9、A～F）	※

※：お買い上げ時のネットワーク名（SSID）と暗号化キー（WEP キー、WPA キー）については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。

6. ステップ 4 が表示されます。ステップ 4 では設定ツールにログインする際のログインパスワードの設定をします。

現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、更に確認のために新しいパスワードを再入力します。

パスワードは、最大 15 文字までの半角英数字と半角記号（.、*、:、<、> &、\、¥ は除く）で設定します。

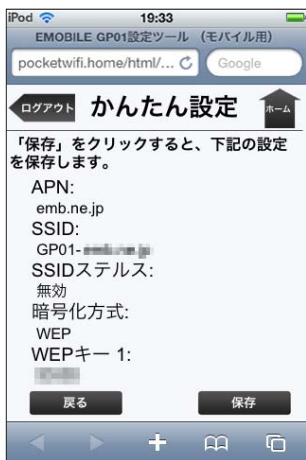
設定を変更しない場合は「スキップ」ボタンをタッチします。

新しくパスワードを変更した場合は「次へ」ボタンをタッチします。



7. ここまで行った設定内容を表示します。

設定内容を確認したら、「保存」をタッチして設定内容を保存します。



注意

- 設定を変更後に引き続きモバイル機器用設定ツールを使用する場合は、設定ツールに再度アクセスする必要があります。
- インターネット接続中に設定を変更すると、接続が切断されることがあります。インターネット接続モードが「オート」の場合は、本製品を再起動することで自動的にインターネットに接続します。「マニュアル」の場合は、本製品を再起動後、モバイル機器用設定ツールの「基本情報」でインターネットへの接続を行ってください（125 ページ）。

5 各種機能を設定する

マルチ SSID 設定 (iPod touch の例)

マルチ SSID 機能 (SSID2) の有効/無効を設定します。
SSID2 は WPA/WPA2 の暗号化方式には対応していません。
SSID の暗号化方式を WEP に設定しているときは、SSID2 を WEP に設定してマルチ SSID 機能を有効にすることはできません。SSID2 を WEP に設定してから行ってください。

1. 設定ツールで「マルチ SSID 設定」をタッチします。

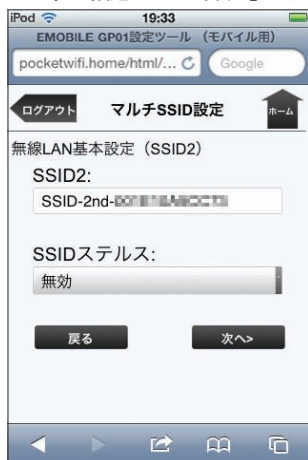


2. マルチ SSID で「有効」を選択したら、「次へ」をタッチします。
 - ・ 「無効」を選択したときは「保存」をタッチします。マルチ SSID 設定は終了します。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
マルチ SSID	SSID2 を有効にするかどうかを設定します。	有効、無効	無効

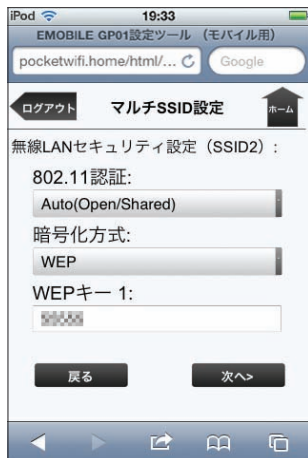
3. 無線 LAN 基本設定 (SSID2) を設定したら、「次へ」をタッチします。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID2	ネットワーク名 (SSID2) を設定します。	最大 32 文字までの半英数字、「.」、「-」、「_」、「(半角スペース)」	※
SSID ステルス	SSID が表示されないように設定します。	有効、無効	無効

※：お買い上げ時の「SSID2」は無線 LAN 初期設定シールの「SSID」の「GP01-」部分を「SSID-2nd-」に置きかえたものです。

4. 無線 LAN セキュリティ設定 (SSID2) を設定したら、「次へ」をタッチします。

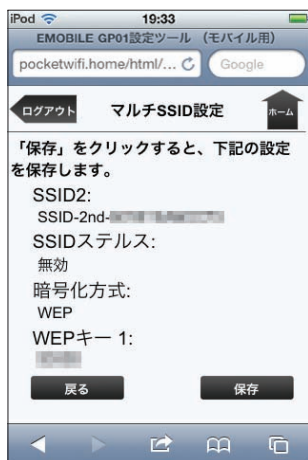


5 各種機能を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IEEE802.11 認証	認証方式を選択します。 「Auto(Open/Shared)」を選択すると WEP 認証方式として Open System または Shared Key を自動的に選択します。	Auto(Open/Shared)、 Open System、Shared Key	Auto(Open/ Shared)
暗号化方式	暗号化モードを選択します。	暗号化なし、WEP	WEP
WEP キー 1	「暗号化方式」で「WEP」を選択しているときに表示されます。 WEP キーを設定します。	64bit キー： 5 文字の半角英数字と半角 記号 (, * : ; < > & \ ¥ は 除く) または 10 桁の 16 進数 (0 ~ 9、A ~ F) 128bit キー： 13 文字の半角英数字と半 角記号 (, * : ; < > & \ ¥ は除く) または 26 桁の 16 進数 (0 ~ 9、A ~ F)	WEP キー

5. ここまで行った設定内容を確認します。

設定内容を確認したら、「保存」をタッチして設定内容を保存します。



注意

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みの無線 LAN 端末が接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の接続設定を変更してください。
- SSID2 の WEP キーを変更すると、SSID の WEP キーも変更されます。また、SSID の WEP キーを変更した場合も同様に SSID2 の WEP キーも変更されます。

microSD 設定 (iPod touch の例)

microSD カードに保存されているファイルの共有モードを指定します。

「HTTP NAS モード」に設定すると、microSD カードに保存されているファイルを、モバイル機器用設定ツール上で確認することができます。「USB マスストレージモード」に設定すると、USB で接続したパソコンから、microSD カードをリムーバブルディスクとして利用できます。

1. 設定ツールで「microSD 設定」をタッチします。



2. 項目を設定します。




5 各種機能を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
共有モード	共有モードを指定します。	HTTP NAS モード*、 USB マスストレージ モード	USB マスス トレージモード

※ : HTTP NAS モードに設定すると、本製品に接続しているすべての機器から、microSDカードに保存されている内容を確認することができます。

3. 設定が完了したら「保存」ボタンをタッチします。

受信したメッセージを確認する (iPod touch の例)

イー・モバイルからのお知らせなどのメッセージを受信すると、本製品のディスプレイにが表示されます (数字は、未読のメッセージ数を表しています)。

モバイル機器用設定ツールを利用すると、メッセージを確認することができます。

- メッセージは最大 250 件まで保存できます (メッセージサイズにより 250 件未満で受信箱がいっぱいになることがあります)。

※2011年9月現在、イー・モバイルからのメッセージの配信は行っておりません。

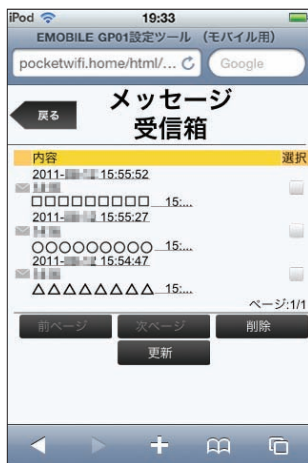
1. ログイン画面でメッセージ受信表示アイコン (//) をタッチします。



メッセージ受信箱が表示されます。

● メッセージを確認する場合

1. 確認したいメッセージをタッチします。



● メッセージを削除する場合

1. 削除したいメッセージにチェックマークを付けます。
2. 「削除」ボタンをタッチします。

● メッセージ受信箱の表示を更新する場合

1. 「更新」ボタンをタッチします。
最新の情報が表示されます。

microSD カードの情報を確認する (iPod touch の例)

本製品に取り付けた microSD カードに保存されているファイルをモバイル機器用設定ツール上で確認することができます。

注意

- この機能を利用するには、「microSD 設定」の「共有モード」を「HTTP NAS モード」に設定しておく必要があります。
- お使いの環境によっては、一部の機能がご利用いただけない場合があります。

5 各種機能を設定する

1. ログイン画面で「microSD」をタッチします。



microSD カードの内容が表示されます。

- microSD カードのファイルを確認する場合

1. 確認したいフォルダまたはファイルをタッチします。



● microSD カードのファイルを削除する場合

1. 削除したいファイルにチェックマークを付けます。
2. 「選択したファイルを削除」 ボタンをタッチします。